

先の 10 月 18 日(日)に行われた新試験制度 2 回目となる平成 21 年秋期の情報処理技術者試験について、先月発表された IT パスポート / 基本情報技術者試験以外の 6 試験の合格発表がありました。同時に発表されたスコア分布などの統計データをもとに、IT ストラテジスト試験の合格発表コメントをお知らせします。

IT ストラテジスト試験試験 (ST)

[平成 21 年秋期の IT ストラテジスト試験 統計情報]

| | |
|-----|---------|
| 応募者 | 8,322 人 |
| 受験者 | 5,514 人 |
| 合格者 | 754 人 |
| 合格率 | 13.7% |

IT ストラテジスト試験は従来のシステムアナリスト試験と上級システムアドミニストレータ試験 (以下、上級シスアド) を統合した試験で、レベル的にも同等で実施されます。内容的には事業戦略、IT 戦略実行管理・評価の分野が従来範囲に追加されています。また、組込みシステムに関する企画・開発計画策定・推進の分野も追加され、全体的に出題範囲が広がりました。なお、新試験から従来の午前試験が午前 (共通知識) と午前 (専門知識) の試験に分かれています。

第 1 回目の実施となった平成 21 年秋期の IT ストラテジスト試験の応募者は、昨年の平成 20 年秋期のシステムアナリスト試験の 4,466 人に上級シスアド試験の 2,331 人を加えた 6,797 人に比べて 1,500 人ほど増えました。合格率は昨秋のシステムアナリスト 12.6%、上級シスアド 12.5% よりも僅かですが増加しています。

[午前 試験 (高度試験の共通知識問題)]

- ・高度試験に共通して出される問題 30 問は、前回の試験と同様にすべて応用情報技術者試験 (AP) から選ばれていました。過去問題の比率は 6 割弱で従来よりも減少傾向にあります。
- ・分野別の出題比率も前回と同じで、出題範囲の中で 23 ある中分類から最低 1 問出題されています。今回の試験で 2 問出題された中分類は次のとおりです。

(2 問出題された中分類)

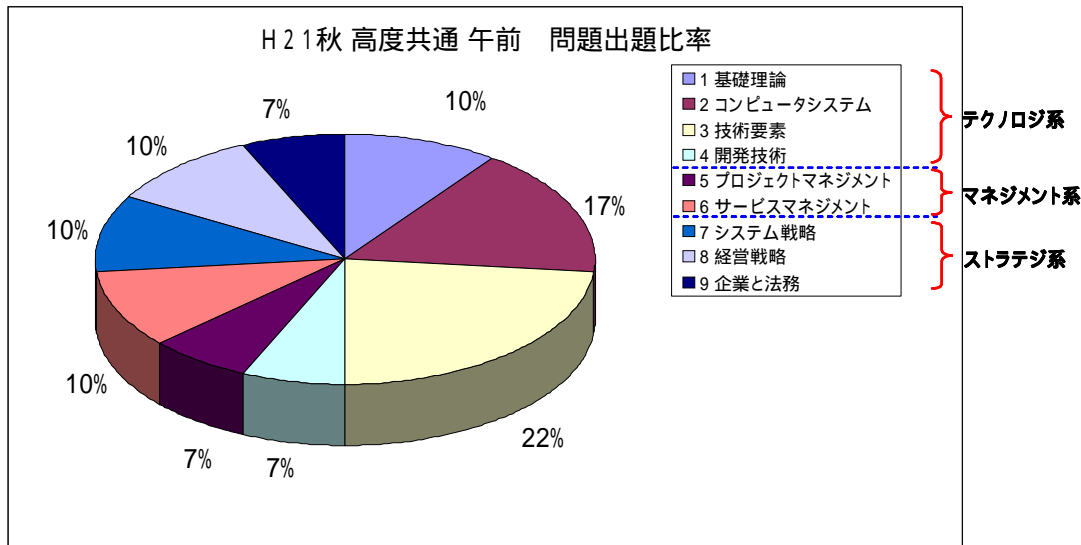
基礎理論、システム構成要素、データベース、セキュリティ、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム戦略

- ・新傾向または新しい用語に関する問題は次のとおりです。

(新傾向問題)

問 3 (= AP 問 5) 連結リストの処理時間、
 問 9 (= AP 問 25) Web アクセシビリティ、
 問 18 (= AP 問 51) アンドバリュウ分析、
 問 21 (= AP 問 57) ITIL のプロセス、
 問 22 (= AP 問 59) 監査調書、
 問 23 (= AP 問 62) ビジネスアーキテクチャ、
 問 25 (= AP 問 67) RFI

平成 21 年秋期の高度試験共通 午前 問題出題比率



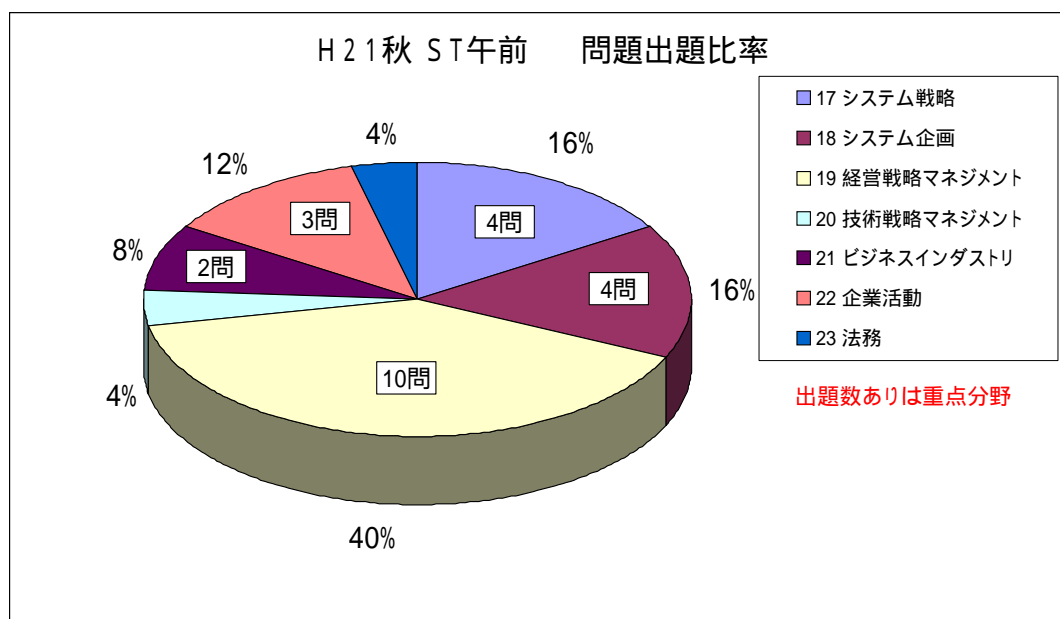
〔午前 の専門知識問題〕

午前 試験は出題範囲が決まっています。IT ストラテジスト試験試験の重点出題分野はシステム戦略、システム企画、経営戦略マネジメント、ビジネスインダストリ、企業活動の 5 分野にも渡っています。しかし、実際には経営戦略マネジメント分野が 10 問で最も多く、他の重点分野の 2 ~ 4 問と大きく出題数が異なっています。

今回の問題のレベルは後で表に示すように受験者（午前 クリアした人）の 61.2% が基準点の 60 点以上を取っており、レベル的には難しくもなく、易しくもない問題だといえます。今後も同じような難易度の問題が出題されると予想されますので、出題された問題を含めて確実に出題範囲内の知識を理解しておく必要があります。

新傾向問題としては、次の問題が挙げられます。

- 問 4 BI(Business Intelligence)の説明
- 問 5 情報システムのアウトソーシング
- 問 6 システム化計画後のプロセス(共通フレーム 2007)
- 問 7 企画プロセスのアクティビティ(共通フレーム 2007)
- 問 8 システムの要件定義作業
- 問 10 マネジメントバイアウトの説明
- 問 11 マーケティングの構成要素
- 問 14 KPI と KGI
- 問 15 バランススコアカード
- 問 16 ファイブフォース分析
- 問 18 SECI モデル
- 問 19 技術経営課題 “ 死の谷 ” の説明
- 問 21 ロングテールの説明
- 問 24 EVA(経済付加価値) の算出方法



〔午後問題〕

・午後 問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。今回から解答数が 3 問から 2 問に減りました。今秋行われた情報セキュリティスペシャリスト試験やシステムアーキテクト試験と異なり、1 問あたりの設問数など解答する量は従来と同じでしたので、受験者負担は軽くなったといえます。

・問 4 が新試験から加わった組込みシステムの出題ですが、実際の開発経験がなくても解答可能でしたが、解答する観点がややつかみづらい問題だったといえます。問 1～3 はベンダ側，ユーザ側の受験者で解答できる問題，問 2～4 は組込みシステムの技術者の方で解答できる問題だといえます。

問 1 地方銀行の業務改革と営業支援システム **ベンダ(IT)/ユーザ 普通**

問 2 エンジニアリング会社の社内システム再構築 **ベンダ(IT, ET)/ユーザ やや易**

問 3 自動窓口機の製造販売企業における IT を使った業務改革 **ベンダ(IT, ET)/ユーザ 普通**

問 4 監視カメラシステムの企画 **ベンダ(ET) やや難**

・午後 問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。どれも一般的で過去にも類似テーマの出題がある記述しやすいものした。

新試験では各設問に字数制限付き，設問ア：800 字以内，設問イ：800 字～1,600 字：設問ウ：600 字～1,200 字となっていますので，必ず字数を守って記述する必要があります。

問 1 事業施策に対応した個別情報化システム構想の立案について **旧アナリストのテーマ**

事業概要とシステムの役割，検討した仕組みと構想，投資効果を高めるシステム構築上の工夫

問 2 情報システム活用の促進策の立案について **旧上級シスアドのテーマ**

システム概要と導入目的，活用されない真の原因分析，システム導入促進案と工夫した点

問 3 開発工程の遅延に対処するための組込み製品の企画の変更 **新テーマ**

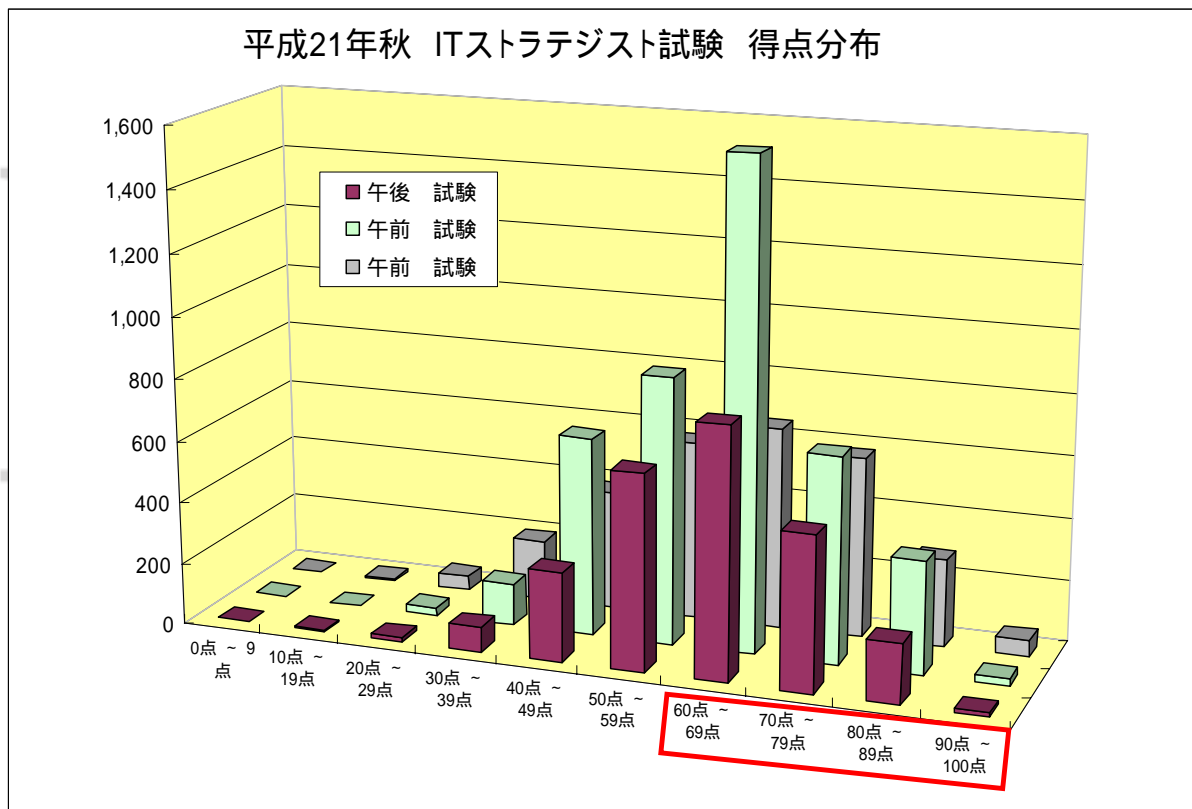
製品の概要・機能・特徴・製品戦略，工程遅延の内容と発生理由，分析と検討，変更案作成と評価

〔平成 21 年秋 IT ストラテジスト試験 スコア分布〕

| 平成 21 年秋 ST | 応募者 | 受験者 | 合格者 |
|-------------|-------|-------|-------|
| 人数 | 8,322 | 5,514 | 754 |
| 率 | | 66.3% | 13.7% |

| 得点 | 午前 試験 | 午前 試験 | 午後 試験 | 午後 試験 | 合格者 |
|--------------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 0 点 ~ 9 点 | 1 | 1 | 3 | D 145 | |
| 10 点 ~ 19 点 | 6 | 0 | 6 | | |
| 20 点 ~ 29 点 | 46 | 25 | 16 | C 125 | |
| 30 点 ~ 39 点 | 194 | 135 | 81 | | |
| 40 点 ~ 49 点 | 386 | 639 | 287 | B 474 | |
| 50 点 ~ 59 点 | 576 | 859 | 630 | | |
| 60 点 ~ 69 点 | 651 | 1,565 | 805 | A 754 | |
| 70 点 ~ 79 点 | 581 | 662 | 499 | | |
| 80 点 ~ 89 点 | 282 | 363 | 195 | | |
| 90 点 ~ 100 点 | 55 | 22 | 13 | | |
| 計 | 2,778 | 4,271 | 2,535 | 1,498 | 754 |
| 対前試験比率 | | 153.7% | 59.4% | 59.1% | 50.3% |
| 午前 免除者(概数) | 2,736 | 49.6% | | | |

| 合格者数 | 754 | 採点者数の割 | 合格者数との |
|-------------|-------|--------|--------|
| 午前 60 点以上合計 | 1,569 | 56.5% | 815 |
| 午前 60 点以上合計 | 2,612 | 61.2% | 1,858 |
| 午後 60 点以上合計 | 1,512 | 59.6% | 758 |
| 午後 -A 評価 | 754 | 50.3% | 0 |



新試験制度で春期の試験で午前 試験免除になった人がたくさん出ましたが、得点分布を分析してみると、今回午前 試験の免除者は概算で 2,736 人 (56.5%) おり、受験者の半数以上が午前 からの受験となりました。次回の午前 免除者数はさらに増えると予想されます。

次に高度系共通の午前 試験で基準点 (60 点) 以上の方は 1,569 人(受験者の 56.5%)で最初の

試験で足をすくわれてしまった人が半数以上にものぼり、予想以上に午前 試験で苦戦した人が多かったことが分かります。次回以降、午前 試験から受験する人は確実に出題範囲の知識を理解する必要があります。

午前 試験で基準点以上の人は 2,612 人(受験者の 61.2%)と少し高い率になっており、問題の難易度としてはレベル 4 といえる問題が少ないこともあり、午前 をクリアした人にとっては特に難しくなかったといえます。次回以降も今回のレベルの試験になると予想します。

午後 試験で基準点(60点)以上取れた人は 59.6%で、前回のシステムアナリスト試験の 49.0%と比べて上がっています。最後に午後 の論述式試験で合格点(A 評価)を取ることができた人は 50.3%で、こちらも前回アナリスト試験の 35.9%よりも上がっています。

午後 試験で合格スコアに至らなかった方は、次回試験の対策として、「午前試験で出題される専門知識の理解度をまず上げる」、その次に、「午後試験で必要とされている知識を題材として、さらに深く学習する」ことを繰り返し行うとよいでしょう。その際、問題文に記述されている事例の概要、状況、環境、条件、問題点などが設問解答の根拠になることをよく理解したうえで問題を解いてみてください。

午後 試験の論文で B 評価以下だった方は第三者による添削などで、事前に客観的に内容評価をしてもらうことをお勧めします(弊社の通信教育に添削サービスは含まれています)。



合否別の試験対策と通信教育，セミナーのご案内

(今回合格された人へ)

合格された方で来春の情報セキュリティスペシャリスト，データベーススペシャリストやエンベデッドシステムスペシャリスト，プロジェクトマネージャ，システム監査技術者試験を目指す方は，午前 試験は免除になりますので，午前 の専門分野知識についてなるべく早く試験対策を始めてください。

午後 試験が論文となるプロジェクトマネージャ，システム監査技術者試験を受けられる方は，新試験の内容や出題範囲をよく理解して学習することが必要です。論文試験で合格点の A 評価を取るためには第三者の添削が欠かせません。アイテックの通信教育では必要なテキスト，模擬試験に加え，論文添削も行っていますので，ぜひご利用ください。

アイテックで出版している試験対策用の教科書（基礎テキスト）は新試験用にレベルごと分野ごとに新たに編集し直したものです。また，出題ポイントを効率的に学習するための「合格への総まとめ」，各試験別の予想問題集，本試験問題は新試験対策用に大改訂しています。これらすべての書籍が書店またはアイテックの Web ページ（<http://www.itec.jp/shop/>）でご購入いただけます。ぜひご利用下さい。

通信教育コースでは，高度系の午前 試験が免除になる方のために最適な教材（高度専門知識テキスト，午後試験重点対策テキスト，予想問題集，本試験問題集，模擬試験（2回），論文添削（2回；午後 が論述試験のコース対象）をお得なセット価格でご提供する標準学習時間 3 か月の「**免除コース**」（2010年1月開講）をお勧めします。ぜひ，ご利用ください。

午前 試験に出題される IT 共通知識のレベル 3 も含めて，総合的に学習したい方には，基礎テキスト（分野別全 6 冊），午前 対策用「合格への総まとめ」，専門知識テキスト，午後試験重点対策テキスト，予想問題集，本試験問題集，模擬試験（2回），論文添削（2回；午後 が論述試験のコース対象）をすべて含んだ標準学習期間 6 か月の「**総合コース**」をお勧めします。

この他，テキストなどをすでにお持ちの方向けに，問題演習を中心に行うための午前ポイント集，最新問題集（予想問題集，本試験問題集）と模擬試験（2回），論文添削（2回；午後 が論述試験のコース対象）をセットにした標準学習時間 4 か月の「**速習コース**」ほか，各コースの e ラーニングなどメニューをたくさん用意しておりますので，ぜひご利用ください。

また，試験対策を受験対策のプロ講師が解説するセミナー「**合格ゼミ**」は，試験対策のノウハウや専門知識を効率的に理解できるセミナーと大変好評を頂いており，お勧めします。締切りの近いコース・セミナーもありますので，急いで確認しましょう。

各コースの内容は弊社のホームページからご覧いただけます。

<http://www.itec.co.jp/>

今回残念ながら不合格だった人

まず、午前 の試験で 50 点に満たなかった人は、自分がよく理解していない内容について早めの学習が必要です。時間のない方は、「2010 合格への総まとめ 応用情報・高度 午前共通知識対策」で出題ポイントと必須問題で効率的に学習を進めましょう。基本事項を理解していない人や苦手な分野がある人は、アイテック刊行の新試験用のレベル 3 の教科書（通信教育教材）でじっくり学習することをお勧めします。

今回の午前 ，午前 試験の得点が 50 点～59 点の人は、合格までほんとうに“あと一歩”のところまで実力が来ていますので、学習した知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策として復習を行い、新たに加わった分野の学習を始めましょう。また、午後試験の得点が 60 点に満たなかった人は、まず午前 の専門知識の内容に関して、午後試験問題を解答するのに必要な知識を確実に理解してください。

次に確実な解答を出すために、落ち着いて問題を解き、解答が正しいかを検証する力を付けましょう。新試験では選択範囲が広がったことで解答しやすくなるとも言えますので、チャンスが広がると考え、早めに対策を行いましょう。なお、午後試験に強くなるには、時間を決めた問題演習やアイテックの模擬試験を会場で受けるなど、試験会場の環境を考えたくて問題を解く訓練を行うのが有効です。

通信教育コースでは、午前 試験免除対象の方のために最適な教材（高度専門知識・午後試験重点対策テキスト、予想問題集、本試験問題集、模擬試験（2 回）、論文添削（2 回；午後 が論述試験のコース対象）をお得なセット価格でご提供する標準学習時間 3 か月の「**免除コース**」（2010 年 1 月開講）をお勧めします。ぜひ、ご利用ください。

午前 試験に出題される IT 共通知識のレベル 3 も含めて、総合的に学習したい方には、基礎テキスト（分野別全 6 冊）、午前 対策用「合格への総まとめ」、専門知識テキスト、午後試験重点対策テキスト、予想問題集、本試験問題集、模擬試験（2 回）、論文添削（2 回；午後 が論述試験のコース対象）をすべて含んだ標準学習期間 6 か月の「**総合コース**」をお勧めします。

この他、テキストなどをすでにお持ちの方向けに、問題演習を中心に行うための午前ポイント集、最新問題集（予想問題集、本試験問題集）と模擬試験（2 回）、論文添削（2 回；午後 が論述試験のコース対象）をセットにした標準学習時間 4 か月の「**速習コース**」ほか、各コースの e ラーニングなどメニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

また、試験対策を受験対策のプロ講師が解説するセミナー「**合格ゼミ**」は、試験対策のノウハウや専門知識を効率的に理解できるセミナーと大変好評を頂いており、お勧めします。締切りの近いコース・セミナーもありますので、急いで確認しましょう。

各コースの内容は弊社のホームページからご覧いただけます。

<http://www.itec.co.jp/>

「合格への最短コース！ 合格ゼミ」

受験対策のプロの講師の講義で効率的な学習を進めましょう。

定員に近い申込者数のコースもあります。お早めにお申込みください。

<http://www.itec.co.jp/howto/seminar/index.html>

（以上）